

認証評価結果に対する改善報告書

平成 28 年 7 月 1 日

1. 大学名：くらしき作陽大学

2. 認証評価実施年度：平成 25 年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：2-1

音楽学科については、収容定員充足率が 0.7 倍を下回っているため、更なる改善が必要である。

4. 改善状況及び結果

基準項目 2-1 について

【理由】

全国的に音楽系志願者が減少傾向にある中、本学はこの状態を深刻に受け止めており、実地調査時にも説明させていただいたとおり、平成 25 年度に音楽学部の学科構成を音楽学科、音楽教育学科の 2 学科から音楽学科 1 学科に統合するとともに、入学定員を 130 名から 100 名に減員しました。

しかしながら、平成 26 年度の入学定員充足率が 46%にとどまったことから、平成 27 年度には、新たに音楽学科の入学定員を 100 名から 60 名に減員するとともに、学生募集改革を行い、従来の高校訪問に加え、各地の吹奏楽連盟と提携し、高校生・中学生（のべ 2,500 名）を対象とした吹奏楽楽器別クリニックやモスクワ音楽院の教員によるレッスン会（全国 10 ヶ所）などを実施しました。

その結果、入学者数が平成 27 年度の 32 名から平成 28 年度は 49 名に増加し、入学定員充足率も平成 27 年度の 53.3%から平成 28 年度は 81.7%まで向上しました。音楽学科では、平成 29 年度以降も学生募集活動の充実を進め、入学定員充足率の更なる改善を継続し、収容定員の充足を達成するべく努めてまいります。

また、全学で行うオープンキャンパスとは別に、音楽学科では独自に、受験生確保のために本学の教員が直接、高校生に対して実技レッスン、音楽系授業を行う音楽講習会を実施しています。この音楽講習会における新規受講者数についても、平成 26 年度の 102 人に比べ、平成 27 年度は 125 人（前年比 122.5%）で新規受講者が増加しており、引き続き、新規受講者数増加に努めてまいります。

同時に、音楽学科では、教育力向上に向けたカリキュラム改革や学生・保護者と連携した就職・進学支援の為のアドバイザー制度の強化・充実に傾注し、休学・退学防止に努めることでも、収容定員充足率改善に繋げてまいります。

5. エビデンス（根拠資料）一覧

基準項目 2-1 の資料

入学定員充足率及び収容定員充足率（平成 26～28 年度）

音楽学部 音楽学科	入学定員 充足率	収容定員 充足率
平成 26 年度	46.0%	56.9%
平成 27 年度	53.3%	55.2%
平成 28 年度	81.7%	56.7%